

次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」

(令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
---------	------------------	-----	-----------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要

1 法人の事業概要

【公益目的事業】

- (1) 緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業
 - (2) 公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
- 【公益目的事業の推進に資するために実施する収益事業等】
駐車場及び売店等の経営

2 法人の設立目的

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによる地域社会の健全な発展への寄与

3 法人のミッション

- (1) 民有地の緑の保全及び緑化の普及啓発と市民の緑化意識の向上、市民による緑の街づくりの推進
- (2) 緑のボランティアセンター機能としての、緑のボランティアの育成、活動支援の充実
- (3) 公園緑地施設等の円滑な運営と健全な利用の増進
- (4) 行政との協働により、市民の窓口となり市民ニーズを踏まえた多様な事業展開ができる緑の情報発信基地としての機能を果たし、緑豊かな潤いと安らぎのある街づくりに寄与すること

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策	施策
			政策3-3 緑と水の豊かな環境をつくりだす
	関連する市の分野別計画	川崎市緑の基本計画【H30～R9】	

現状と課題

【現状】

「川崎市緑の基本計画」に基づき、市民との協働による都市緑化の推進と緑のボランティア活動支援に取り組み、各種講座、コンクール、イベント等を実施しています。また、公益目的事業の推進、公益財団法人としての自立的な経営に向けて、事業の簡素化、効率化、収益事業の拡充、組織再編等を図り経費削減に努めています。

【課題】

協会は、定款記載の公益財団法人としての目的を達成すべく緑に関する事業を円滑に実施する法人運営をしていきたいと考えています。そのために緑のボランティアセンターとして現在継続している緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を推進し、多様な主体が参画するグリーンコミュニティの形成を図ることが必要であると考えています。また、等々力緑地再編整備事業の影響を踏まえ、協会自主財源の主である収益事業の減収を見据えて、安定した事業収益の確保と協会事業運営が今後の課題であると考えています。

取組の方向性

(1) 経営改善項目

等々力緑地再編整備事業の影響による事業収益の減収を減減させるため、自販機の増設による収益事業の拡充や等々力陸上競技場を主担当としている職員の人員配置等について調整を行い経営改善に向けて、事業の簡素化・効率化を図ります。

(2) 連携・活用項目

「川崎市緑の基本計画」における各施策について、これまでの取組の継続に加えて、以下の観点を踏まえ、法人の役割を確認しながら連携・活用します。

- ・緑のパートナーとして多様な主体との連携、促進を図り、「緑育」という視点で、特に次世代を担う子供たちに対する活動支援
- ・緑の空間の持続的な保全・創出・育成という観点から、緑化助成制度の更なる普及と充実
- ・グリーンコミュニティ形成の観点から、ボランティアセンター機能の活用と身近な公園における多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティ形成、柔軟な利活用

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
---------	------------------	-----	-----------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

○地域社会の健全な発展に寄与するため、緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行います。

○「緑化推進・普及啓発事業」「緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、令和6年度の都市緑化フェアに向けた連携を図りつつ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

○等々力緑地再編整備事業による影響を踏まえ、経常収支比率の改善及び正味財産額の遞減抑制に向けて、収益事業の見直しを実施し自己収入の確保に努めるとともに等々力陸上競技場の職員の人員配置等について調整を行い、効率的かつ安定的な業務を実施できるよう協議、調整をしていきます。また、今後の事業運営のあり方について検討を行います。

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
①	緑化推進・普及啓発事業	ホームページアクセス回数	R2:15,129	15,200	15,300	15,400	15,500	回	
		緑化推進事業等助成件数	R2:1,039	1,090	1,115	1,120	1,125	件	
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出(直接事業費)	R2:52,000 (R2:53,946)	52,000 (55,600)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	千円	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者数	R2:1,385	2,500	3,850	3,900	3,950	人	
		緑の人材バンク新規登録者数	R2:8	13	16	17	18	人	
		緑の活動団体新規登録者数	R2:8	12	13	14	15	団体	
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出(直接事業費)	R2:49,231 (R2:63,380)	49,230 (70,900)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	千円	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等参加者満足度	R2:—	95	96	97	98	%	
		ばら苑来苑者数	R3:68,145	74,500	81,000	81,500	82,000	人	
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出(直接事業費)	R2:186,091 (R2:204,999)	196,827 (200,246)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	千円	

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
①	運営の自立性の向上	経常収支比率	R2:95.9	105.7	84.2	84.3	84.3	%	
		正味財産額の推移	R2:534,854	561,502	517,208	473,099	428,925	千円	

業務・組織に関する計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
①	効率的・安定的な執行体制の構築	常勤役職員の人数	R3:21	20	17	17	17	人	

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの管理課
---------	------------------	-----	-----------------

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		緑化推進・普及啓発事業						
現状		緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の発行からフェイスブックやホームページの活用まで幅広い広報活動を展開し、緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知することにより、地域の緑化と市民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑あふれる潤いのある街づくりに努めています。						
行動計画		広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、更にフェイスブック等により、リアルタイムに情報を提供、共有するとともに、広く市民に緑化推進・普及啓発事業(思い出記念樹・緑化助成金等)を周知し拡充することに努めます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	ホームページアクセス回数	R2:15,129	15,200	15,300	15,400	15,500	回
	説明	協会ホームページアクセス回数						
	2	緑化推進事業等助成件数	R2:1,039	1,090	1,115	1,120	1,125	件
	説明	緑化推進事業等を目的に行う各種助成総件数(思い出記念樹・生垣づくり・駐車場緑化・屋上・壁面緑化)						
	3	事業別の行政サービスコスト	R2:52,000 (R2:53,946)	52,000 (55,600)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	52,729 (55,800)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)						
現状		グリーンコミュニティ形成に向け、緑のボランティアの育成と活動団体の支援を図り、応募方式等による各種講座・出前講座等を開催し、緑のボランティアの育成と技術向上を図るとともに、講座修了者に協会人材バンク(令和2年度206人)への登録と緑の活動団体(令和2年度268団体)新規登録を推進し、市民の緑化意識向上に努めています。						
行動計画		緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等の内容の充実を図り、受講者数を増やすとともに、受講者の技術向上を推進します。そして講座修了者を協会人材バンクに登録し、各種イベントボランティアや各地域で活躍できる人材育成を行うことにより緑の活動団体の新規登録を増進し、市民の緑化意識向上に努めます。また、身近な公園等における、多様な主体の参加による取組を踏まえた地域コミュニティ形成を進めます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	各種講座受講者数	R2:1,385	2,500	3,850	3,900	3,950	人
	説明	緑のボランティア育成と活動支援を目的に協会が主催する各種講座受講者数						
	2	緑の人材バンク新規登録者数	R2:8	13	16	17	18	人
	説明	イベントの講師、花と緑の相談員、出前講座、活動支援等に活用する人材バンクの新規登録者数						
3	緑の活動団体新規登録数	R2:8	12	13	14	15	団体	
説明	各地域で里山整備や花壇・プランター等を活用して花と緑のボランティア活動を行う団体の新規登録数							
4	事業別の行政サービスコスト	R2:49,231 (R2:63,380)	49,230 (70,900)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	51,857 (71,000)	千円	
説明	本市財政支出(直接事業費)							

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)を実施し、公園緑地及び運動施設並びに生田緑地ばら苑等の利用促進と緑化意識向上に努めています。
行動計画	収益事業の収益を財源として花と緑を中心とした各種イベントを実施し参加者満足度を高め、公園緑地の利用促進と緑化意識の向上と推進、拡充を図ります。また、開催するイベント等の内容を充実させ、公園緑地、運動施設、ばら苑の魅力を周知し利用者の拡充に努めます。

スケジュール		現状値	目標値					単位
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	各種イベント等参加者満足度	R2: -	95	96	97	98	%
	説明	凧揚げ大会、ばら苑講習会、花と緑の講習会などの参加者満足度						
	2	ばら苑来苑者数	R3: 68,145	74,500	81,000	81,500	82,000	人
	説明	生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数						
	3	事業別の行政サービスコスト	R2: 186,091 (R2: 204,999)	196,827 (200,246)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	72,080 (75,080)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)						

3. 経営健全化に向けた事業計画①

項目名		運営の自立性の向上						
現状		コロナ禍となる前では、経常収支比率は100%を超え、正味財産額も堅調に推移しておりましたが、令和2年度においては、緊急事態宣言下におけるイベントの中止や駐車場の一時閉鎖に伴い駐車場等事業収益が令和元年度と比較し約5千万円の減収となりました。また、令和5年度から等々力緑地再編整備事業の影響により、駐車場等事業収益の大幅な減収が見込まれるなか、市財政支出割合が高くなる傾向にならないように、新たに収益を確保できる事業を推進し、川崎市からの財政支出割合を低減するように努めています。						
行動計画		今後4ヶ年における安定した協会事業運営を行うために、目標値の逡減抑制に向けて、自販機の増設など収益事業による自己収入の確保に努めるとともに、等々力陸上競技場を主な業務として担当している職員の人員配置の整理など経費削減策についても継続して検討を行い、公益事業を行える組織体制の構築と経営健全化に伴う財政構造の確立に努めます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	経常収支比率	R2:95.9	105.7	84.2	84.3	84.3	%
	説明	事業活動の結果である経常収益とそれに費やした経常費用の割合						
	2	正味財産額の推移	R2:534,854	561,502	517,208	473,099	428,925	千円
	説明	出捐者から受け入れた指定正味財産額と本業から得られた過年度経常収支差額の合計額						

4. 業務・組織に関する計画①

項目名		効率的・安定的な執行体制の構築						
現状		令和3年度は常勤役員2名及び常勤職員19名の計21名で事業運営業務を行っています。						
行動計画		公益的目的事業の推進をするにあたり、緑のボランティアの育成と支援を行う活動拠点を中心とした事業運営を実施します。その上で等々力緑地再編整備事業の実施に伴い、等々力陸上競技場を主な業務として担当している常勤職員について、退職者の不補充により少なくとも3名の削減をするなどの適正な人員配置計画の策定を行い、協会組織のスリム化を図るとともに、当該計画に基づき、引き続き、効率的かつ安定的な業務遂行に努めます。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	常勤役職員の人数	R3:21	20	17	17	17	人
	説明	年度当初の常勤の役員及び職員の人数						

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方		
		令和3 (2021)年度	令和7 (2025)年度				
緑化推進・普及啓発事業							
1	算出方法 協会ホームページアクセス数	ホームページアクセス回数	緑化の推進・普及啓発事業等を市民に周知・広報する目的として広報誌・チラシ等の発行からHP・Facebookなど様々な媒体を活用しているが、今後は、WEBの活用に重点を置き、特に令和2年度に実施したホームページのリニューアルに伴うWEBIによる利便性向上と成果確認を測る指標として設定した。	R2: 15,129	15,500	回	緑化推進・普及啓発事業を周知・広報する手段としてHPやFacebookに重点を置くため、令和2年度にHPをスマホ・タブレット対応型にリニューアルし、利便性向上を測る目的として令和2年度のHPアクセス数を参考に年100回増を目標に設定した。 (参考: H29:11,869回 H30:12,045回 R1:10,635回 R2:15,129回)
2	算出方法 緑化推進事業等(生垣づくり・屋上壁面緑化・思い出記念樹等)助成件数	緑化推進事業等助成件数	緑化推進・普及啓発事業等の広報を通じて緑化推進事業等助成の拡充状況を測る指標として設定した。	R2: 1,039	1,125	件	HPの広報や周知を図りながらも、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものと考え、令和元年度、令和2年度の平均値の1,090件とし、令和5年度からは、平成29年度から令和元年度の平均1,115件の実績に年5件ずつ増を目標として設定した。 (参考: H29: 1,131件 H30:1,082件 R1:1,134件 R2: 1,039件)
3	算出方法 本市財政支出(直接事業費)	事業別の行政サービスコスト	当該事業の直接事業費に対して充当される本市財政支出を指標として設定した。	R2: 52,000 (R2: 53,946)	52,729 (55,800)	千円	緑化の推進・普及啓発事業の拡充を図るとともに助成件数増加も考慮に入れつつ、市の収支フレームに沿った経費支出を設定した。 (参考: H29:47,349千円(50,573) H30: 47,165千円(50,540) R1:48,005千円(55,536) R2:52,000千円(53,946))
緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)							
1	算出方法 協会主催の緑のボランティアに関する各種講座の受講生の参加者数	各種講座受講者数	緑のボランティア育成と支援を目的に各種講座を開催し、多くの市民に受講していただくことで緑化意識の向上を図る指標として設定した。	R2: 1,385	3,950	人	講座の内容等を充実させながらも、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものと考え、令和元年度、令和2年度の平均値2,500人とし、令和5年度からは、平成29年度から令和元年度の平均3,850人の実績に年50人増を目標として設定した。 (参考: H29: 3,866人 H30:4,071人) (R1:3,601人 R2: 1,385人)
2	算出方法 緑の人材バンク新規登録者数	緑の人材バンク新規登録者数	緑のボランティア育成と支援を目的に各種講座を開催し、協会人材バンク登録を推進する指標として設定した。	R2: 8	18	人	緑の人材バンク新規登録への取組みを図りながらも、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものと考え、令和元年度、令和2年度の平均値13人とし、令和5年度からは、平成29年度から令和2年度の平均値16人の実績に年1人ずつ増を目標として設定した。 (参考: H29: 14人 H30:18人 R1:17人 R2: 8人)
3	算出方法 緑の活動団体新規登録数	緑の活動団体新規登録数	緑のボランティア育成と支援を目的に各種講座を開催し、地域緑化活動の推進と拡充を図る目的で新規団体登録を推進する指標として設定した。	R2: 8	15	団体	新規団体登録への取組みを図りながら、令和4年度からは、平成29年度から令和2年度の平均値12団体の実績に年1団体増を目標として設定した。 (参考: H29: 15団体 H30:6団体 R1:19団体 R2: 8団体)
4	算出方法 本市財政支出(直接事業費)	事業別の行政サービスコスト	当該事業の直接事業費に対して充当される本市財政支出を指標として設定した。	R2: 49,231 (R2: 63,380)	51,857 (71,000)	千円	緑のボランティア育成と活動団体の支援の推進・拡充を図るとともに人材バンク及び緑の活動団体新規登録数増加も考慮に入れつつ、市の収支フレームに沿った経費支出を設定した。 (参考: H29:49,838千円(61,330) H30:50,399千円(63,133) R1:50,064千円(64,208) R2:49,231千円(63,380))

公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業						
1	各種イベント等参加者満足度	協会自主事業であるイベント等開催による公園緑地の利用促進と緑化意識向上に向けて、参加者の満足度を測る指標として設定した。	R2: -	98	%	協会主催の各種イベント等満足度を平成29年度から令和元年度の平均値94%の実績に年1%の増を目標に設定した。 (参考:H29:96% H30:94% R1:92% R2:中止)
	算出方法 イベント等参加者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合					
2	ばら苑来苑者数	春秋のばら苑開苑期間中の来苑者数は、各種イベントや広報活動を充実させ、来苑者数増加による魅力の向上を図る指標として設定した。	R3:68,145	82,000	人	春秋のばら苑開苑期間中に行う各種イベントや広報活動を充実させ、来苑者数の増加を図りながらも、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものと考え、令和元年度と令和3年度の平均値74,500人とし、令和5年度以降は、平成29年度から令和元年度の平均値81,000人の実績に年500人増を目標として設定した。 (参考:H29:75,112人 H30:86,867人 R1:80,856人 R2:32,336人 R3:68,145人)
	算出方法 春秋のばら苑一般開放時来苑者数					
3	事業別の行政サービスコスト	当該事業の直接事業費に対して充当される本市財政支出を指標として設定した。	R2:186,091 (R2:204,999)	72,080 (75,080)	千円	令和5年度から始まる等々力緑地再編整備計画実施に伴い公益事業及び収益事業撤退の中、各事業指標の目標も考慮に入れつつ、収支フレームに沿った経費支出を設定した。 (参考:H29:212,126千円(242,889) H30:178,387千円(195,964) R1:183,992千円(220,145) R2:186,091千円(204,999))
	算出方法 本市財政支出(直接事業費)					
経営健全化に向けた事業計画						
指標		指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方
			令和3(2021)年度	令和7(2025)年度		
運営の自立性の向上						
1	経常収支比率	収益性の向上を図るための指標として設定。日々の事業活動によって費やした経常費用に対し、得られる経常収益の割合の把握を通じて、安定的・継続的に事業を行っているか、その取組の成果を測るものとして設定した。	R2:95.9	84.3	%	令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響により、公益事業及び収益事業の大幅な減収が見込まれる中、自販機の増設等による収益増や組織再編及び経費削減計画等の実施を見込み、今後の経営健全化と財務構造の転換を測る目標値として設定した。 (参考:H29:105.0% H30:108.8% R1:101.0% R2:95.9%)
	算出方法 経常収益/経常費用×100					
2	正味財産額の推移	財務の安全性の維持・向上を図るための指標として設定。正味財産額の推移・状況の把握を通じて、今後の事業活動を安定的・継続的に進めていく財務基盤に懸念がないか、その取組の成果を測るものとして設定した。	R2:534,854	428,925	千円	令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響により、公益事業及び収益事業の大幅な減収が見込まれる中、自販機の増設等による収益増や組織再編及び経費削減計画等の実施を見込み、今後の経営健全化と財務構造の転換を測る目標値として設定した。 (参考:H29:517,957千円 H30:555,913千円 R1:553,171千円 R2:534,854千円)
	算出方法 指定正味財産額+一般正味財産額					
業務・組織に関する計画						
指標		指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方
			令和3(2021)年度	令和7(2025)年度		
効率的・安定的な執行体制の構築						
1	常勤役職員の人数	協会組織のスリム化と適正人員配置計画に伴う常勤役員・職員の人数を指標として設定した。	R3:21	17	人	令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響により、協会組織のスリム化と適正人員配置計画を実施し、継続可能な協会事業運営に資する体制を構築する目標値として設定した。 (参考:H29:25 H30:27 R1:24 R2:23 R3:21)
	算出方法 年度当初の常勤役員+常勤職員の数					

5. 財務見直し

収支及び財産の状況(単位:千円)		現状		見込み			
		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)						
	経常収益	427,441	463,304	461,403	235,057	235,732	236,407
	経常費用(事業費)	419,532	423,389	415,150	262,105	262,595	263,335
	経常費用(管理費)	26,006	21,015	21,505	17,026	17,026	17,026
	うち減価償却費	2,638	4,136	4,091	4,046	4,001	3,956
	当期経常増減額	△18,097	18,900	24,748	△44,074	△43,889	△43,954
	経常外収益						
	経常外費用						
	税引前当期一般正味財産増減額	△18,097	18,900	24,748	△44,074	△43,889	△43,954
	当期一般正味財産増減額	△18,317	10,900	15,748	△44,294	△44,109	△44,174
(指定正味財産増減の部)							
当期指定正味財産増減額							
正味財産期末残高	534,854	545,754	561,502	517,208	473,099	428,925	
貸借対照表	総資産	705,061	693,257	669,955	625,015	570,388	517,749
	流動資産	305,804	287,704	281,052	231,758	182,649	133,475
	固定資産	399,257	405,553	388,903	393,257	387,739	384,274
	総負債	170,207	147,503	108,453	107,807	97,289	88,824
	流動負債	85,919	56,919	34,537	29,537	24,537	19,537
	固定負債	84,288	90,584	73,916	78,270	72,752	69,287
	正味財産	534,854	545,754	561,502	517,208	473,099	428,925
指定正味財産	131,000	131,000	131,000	131,000	131,000	131,000	
一般正味財産	403,854	414,754	430,502	386,208	342,099	297,925	
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	駐車場等事業収益	129,165	162,586	158,135	53,180	53,855	54,530
経常費用	人件費(事業費+管理費)	147,045	159,112	147,850	118,890	119,250	119,860
総資産	特定資産	102,071	108,367	91,716	96,070	70,552	67,087
総負債	有利子負債(借入金+社債等)	4,432	7,416	3,900	2,600	1,300	
本市の財政支出等(単位:千円)		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		101,232	101,230	101,230	104,586	104,586	104,586
負担金							
委託料		186,091	194,597	196,827	72,080	72,080	72,080
指定管理料							
貸付金(年度末残高)							
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)							
出捐金(年度末状況)		131,000	131,000	131,000	131,000	131,000	131,000
(市出捐率)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
財務に関する指標		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		355.9%	505.5%	813.8%	784.6%	744.4%	683.2%
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)		0.8%	1.4%	0.7%	0.5%	0.3%	
経常収支比率(経常収益/経常費用)		95.9%	104.3%	105.7%	84.2%	84.3%	84.3%
正味財産比率(正味財産/総資産)		75.9%	78.7%	83.8%	82.8%	82.9%	82.8%
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用		64.5%	66.6%	68.3%	63.3%	63.2%	63.0%
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益		67.2%	63.9%	64.6%	75.2%	74.9%	74.7%
法人コメント		今後の見直し				本市コメント	
現状認識		今後の見直し				今後の見直しに対する認識	
令和5年度から始まる等々力緑地再編整備の影響は大きく現在、収益事業を拡充すべく令和2年度に自動販売機10基を増設し、令和3年度には、市内公園緑地に新たに27基増設します。また、令和3年度人員配置計画に基づき令和2年度末に定年退職した正規職員3名について新規採用は見送り2名を嘱託職員として再雇用し、役員2名及び常勤職員19名の合計21名で事業を推進しております。今後も組織のスリム化と適正な人員配置に努めてまいります。		公益目的事業について安定した事業運営を実施するとともに公益目的事業2公園緑地等の運営事業においても川崎市が公募する指定管理事業等にも積極的に応募し財源確保に努めます。収益事業の収益確保ができるよう市と協議し駐車場、自動販売機、売店等の事業運営の見直し及び拡充を図ってまいります。				令和5年度から始まる等々力緑地再編整備事業の影響により、同年度以降経常収支比率が約84%で推移していかため、収益確保に向けた方策について法人と協議、調整を実施するとともに、今後の協会のあり方や協会が担う事業の実施方法についても、検討を行う必要があると考えております。	